

(一部訂正) 平成 28 年 7 月 13 日
平成 28 年 6 月 28 日
気 象 庁

気象庁防災情報XMLフォーマットに係る資料の一部更新について
～指定河川洪水予報、特別警報・警報・注意報、気象情報及び天気概況で使用する
「はん濫」の「氾濫」への変更について～

気象庁が国土交通省または都道府県と共同して行う指定河川洪水予報や、気象庁が発表する洪水警報・注意報、気象情報及び天気概況において、「はん濫」という用語を使用しています。

このほど、平成 22 年 11 月に「氾」が常用漢字に追加されて 5 年余りが経過し、「氾濫」の用語が社会へ浸透したことから、指定河川洪水予報、洪水警報・注意報及び気象情報で使用する「はん濫」を、下記のとおり「氾濫」へ変更することとします。

これに伴い、気象庁防災情報XMLフォーマット情報提供ページ (<http://xml.kishou.go.jp/>) に掲載されている予報関連資料の一部について更新を行います。内容は以下のとおりです。

1. 概要

(1) 指定河川洪水予報における変更

電文中で「はん濫」と記述している全ての箇所について、「氾濫」の記述に変更します。

- ・Head/Title 及び Head/Headline/Information/Item/Kind/Name の記述を下表のとおり変更します。

現 在	変更後
はん濫注意情報解除	氾濫注意情報解除
はん濫注意情報	氾濫注意情報
はん濫注意情報（警戒情報解除）	氾濫注意情報（警戒情報解除）
はん濫警戒情報	氾濫警戒情報
はん濫危険情報	氾濫危険情報
はん濫発生情報	氾濫発生情報
はん濫発生情報（はん濫水の予報）	氾濫発生情報（氾濫水の予報）

- ・Head/Headline 内及び Body/Warning/Item/Kind 以下で記述する「はん濫」を「氾濫」に変更します。
- ・はん濫発生情報（はん濫水の予報）において、Body/MeteorologicalInfos の type 属性値”はん濫水の予報”の記述を”氾濫水の予報”に変更します。また、

Body/MeteorologicalInfos/MeteorologicalInfo/Item/Kind 以下で記述する「はん濫」を「氾濫」に変更します。

- Body/AdditionalInfo/FloodForecastAddition/HydrometricStationPart/Criteria 以下で記述する「はん濫注意水位」を「氾濫注意水位」に、「はん濫危険水位」を「氾濫危険水位」に変更します。

(2) 特別警報・警報・注意報における変更

洪水警報・注意報の付加事項で記述する「はん濫」を「氾濫」に変更します。

- Body/Warning/Item/Kind/Addition の記述を「氾濫」に変更します。
- これに加えて、気象警報・注意報（H27）では、Body/MeteorologicalInfos/TimeSeriesInfo/Item/Kind/Property/SignificancyPart/Base 以下にある Addition の記述も「氾濫」に変更します。

(3) 気象情報、天気概況等の一般報における変更

全般気象情報、地方気象情報、府県気象情報、全般台風情報、天気概況等の一般報において、洪水に警戒・注意を呼びかける際の Head/Headline/Text（見出し文）や Body/Comment/Text（内容）で使用する「はん濫」を「氾濫」に変更します。

2. 辞書の更新

以下のとおり、気象分野個別辞書（jmx_mete）を更新します。

- “type.MeteorologicalInfos” の type 属性のとりうる値の”はん濫水の予報”を、”氾濫水の予報”に変更します。
- “type.Kind” の子要素 Name のとりうる値に”氾濫注意情報（警戒情報解除）”及び”氾濫発生情報（氾濫水の予報）”を追加します。また、”はん濫注意情報”、”はん濫警戒情報”、”はん濫危険情報”、”はん濫発生情報”、”はん濫注意情報解除”、”浸水想定地区（はん濫発生情報）”、”はん濫の発生”、”はん濫危険水位超過”、”はん濫注意水位（警戒水位）超過”、”はん濫注意水位超過”、”はん濫水”をそれぞれ”氾濫注意情報”、”氾濫警戒情報”、”氾濫危険情報”、”氾濫発生情報”、”氾濫注意情報解除”、”浸水想定地区（氾濫発生情報）”、”氾濫の発生”、”氾濫危険水位超過”、”氾濫注意水位（警戒水位）超過”、”氾濫注意水位超過”、”氾濫水”に変更します。
- “type.Addition” の子要素 Note のとりうる値の”はん濫”を”氾濫”に変更します。
- “type.Property” の子要素 Type のとりうる値の”はん濫水”、”浸水想定地区（はん濫発生情報）”を、それぞれ”氾濫水”、”浸水想定地区（氾濫発生情報）”に変更します。
- “type.FloodAssumptionPart” の子要素 AttainmentTime の意味の”はん濫水到達時刻”及び”はん濫水最深時刻”を、それぞれ”氾濫水到達時刻”及び”氾濫水最深時刻”に変更します。

3. スキーマのバージョン

今回の修正に際して、スキーマのバージョンに変更はありません。

4. コード表の更新

AreaRiver コード表の欄外の説明の「”はん濫水の予報”」を「”氾濫水の予報”」に変更します。

5. 解説資料の更新

指定河川洪水予報の解説資料で「はん濫」と記述している全ての箇所について、「氾濫」に変更します（見直し版は別紙の通り）。気象特別警報・警報・注意報及び一般報の解説資料に変更はありません。

6. サンプルデータの更新

指定河川洪水予報、一部の気象特別警報・警報・注意報、一部の全般気象情報、地方気象情報及び府県気象情報のサンプルデータを更新します。

なお、変更の実施時期までは、従前のサンプルデータも並行して気象庁防災情報XMLフォーマット情報提供ページ (<http://xml.kishou.go.jp/>) に掲載します。

7. 変更の実施時期

いずれも、平成 28 年 12 月頃を目途として実施する計画です。具体的実施時期については、決まり次第お知らせします。

更新する資料一覧

- ・気象庁防災情報XMLフォーマット運用指針
別紙 1：辞書・スキーマバージョン管理表
- ・辞書（気象分野個別辞書（jmx_mete））
- ・コード管理表
- ・個別コード表（AreaRiver.xls）
- ・解説資料整理表
- ・解説資料（指定河川洪水予報）
- ・サンプルデータ整理表
- ・サンプルデータ